

いて、親子8組21名の参加があり、「覗いてみよう！植物検査の世界」を開催しました。

会場では、植物防疫所の仕事を紹介するビデオを見た後、実際に本格的な顕微鏡を使って、ミカンコミバエを観察したり、小麦から害虫を見つけてる体験をしました。子どもたちは、「小さなハエがとでも大きく見えてびっくりした」、「小麦を振るのがおもしろかった」と話していました。



顕微鏡を覗く子ども

主催した東海農政局「消費者の部屋」では、これらのセミナーをとおして子どもたちが農業や食に少しでも興味や関心を持ってくれれば大変うれしく、来年も企画したいと思っています。

詳しくは、東海農政局のホームページ <http://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/natuyasumiyoakotaiiken.html>

「ふらっとみなみ夏祭り」で食育推進コーナー エコリンも一緒に食育クイズ

8月28日（土）、ふらっとみなみ（小牧市南児童館小牧南部コミュニティセンター）の夏祭り会場にて、「楽しく出来ること考えてみよう！」をテーマに食育推進ボランティアグループの「子育て・美育・食育ネットワークもぐもぐ倶楽部」によって食育推進コーナーを開催しました。もぐもぐ倶楽部は、名古屋市と小牧市にボランティア登録をして子育て世代を対象にした、「自然

農法の教育ファーム」や地産地消や命のつながりを大切にする「親子で楽しむ食育教室」を開催しています。

日ごろの活動報告、内閣府食育推進ポスター受賞作品掲示、地産地消と日本型食生活の紹介コーナー、小牧市や名古屋市の食育推進計画PR版などの啓発資材配布、ボランティア管理栄養士による食事バランスガイドや食料自給率など説明、小さな子どもには、野菜や果物の塗り絵や食育シールブック「だいすき」などの体験コーナー、食育クイズでは、「一口こはんを多く食べるだけで食料自給率があがるんだ」「愛知県には農産物日本一が割りとあるんだ」等の親子の声と夏祭りにやってきたエコリン（小牧市環境キャラクター）も一緒になって食育推進コーナーを楽しみました。



食事バランスガイドを説明する藤岡さん

生活習慣病の発症と進行を防ぐため、厚生労働省では、国民一人ひとりが改めて食生活改善の重要性を認識し、理解を深め、日常生活での実践を促進するため、9月の1か月に平成22年度食生活改善普及運動を展開し、種々の行事等が全国的に実施されます。

9月に「食生活改善普及運動」 が取り組まれます（厚生労働省）

また、同時期に実施される「健康増進普及月間」と連携を図り、総合的な推進が図られます。詳しくは、次の厚生労働省のホームページをご覧ください。

ページをご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou-syokujiz/>

「男性料理教室」体験記

普段乱れている自分自身の食生活を改善しようと、やっとその気になった「とうかい食育推進だより」編集担当の料理教室体験記を紹介します。今回は、8月9日（月）に愛知文教女子短期大学サマーカレッジ2010の中から「男性料理教室中国料理に挑戦」にお世話になりました。参加者は全員で8名で各自早速エプロン、バンダナを身につけ、デモンストレーション用の調理台の前に座りました。

講師は本大学の准教授で管理栄養士でもある小野内初美さんです。食材や調味料がずらりと並んだ調理台、ホワイトボードいっぱい書かれたレシピの前で手際のよい説明が進み、そのライブ感たっぷりの風景に思わず自分は見入ってしまいました。

今回は棒棒鶏、八宝菜、春巻きの3品に加えデザートのカシュー豆腐を作りますが、テーブル上にこれらの食材、調味料が混在しているとさらに謎解きゲームになり、とにかく小野内先生の手元から目が離せませんでした。ただ、自分のような参加者のために各調理台に配られた食材にかけられたラップにはきちんと料理名が書かれていましたので、先ずは安心。やはり男性向教室だからでしょうか？

今回のような食材、調味料の分量が決まっただけで、途中の味見の心配のない調理でも、4人が休みなく作業をこなさなければならず、なかなか大変だと感じましたが、空腹を忘れるほど楽

しく調理に熱中出来たのは確かです。ようやく料理が完成し、参加者の皆さんとテーブルを囲みおいしくいただきました。また、中国料理ならではの野菜の食感を楽しみながら、野菜を多く使った料理を前に、日頃の自分の野菜不足を思わず感じてしまいました。

この時、他の参加者の方とゆっくりお話することができ、最近の料理教室は男性の割合が増えているというお話を聞かせて頂きました。皆さんは地元の大学の主催する講座をいつも楽しみにしていらつしやるようでした。自分もまた参加したくなりました。



小野内先生と参加者たち

今回、編集部での体験記を掲載致しましたが、調理体験から得る事の多さを知ることが出来ました。調理体験を通じて食育に取り組まれている読者の皆さんからも、日頃感じている事などを是非この「とうかい食育推進だより」にご投稿下さい、お待ちしております。大学ホームページは <http://www.ai-bunkyo.ac.jp/update/2010/osc/aiyo.html>

東海地域の食育イベント等情報をお知らせ

「とうかい食育推進だより」への掲載情報を募集しています。掲載ご希望の方は、お近くの岐阜農政事務所、三重農政事務所、東海農政局及び各地域課、または東海農政局消費生活課（食育推進班）電話052-223-4651まで、お問い合わせ下さい。